

市政調査会(各区調査)報告

市政調査会では、広大な市域を有する奥州市の均衡ある発展を推進するため、各区の問題点を明確化させるとともに、議会としての共通認識のもとに、その解決に向けた方向性を導き出すことを目的に、5つのグループに分かれ、各区の状況を調査、検討することになりました。

具体的な内容は？

- ①各区の施設の視察
- ②各総合支所の行政執行状況について
- ③公共的団体との意見交換会

A【教 育 系】

○佐藤 克夫○三宅 正克・千葉 正文・小野寺 重・藤田 慶則
亀梨 恒男・千田美津子・廣野 雅昭・渡辺 忠

B【総 務 系】

○渡辺 明美○内田 和良・菅原 明・及川 俊行・千葉 悟郎
及川 梅男・小沢 昌記・数江與志元

C【福 祉 系】

○関 笙子○石川 和好・佐々木國男・佐藤 邦夫・菅野 市夫
佐藤 修孝・安部 皓三・高橋 瑞男

D【産 業 系】

○佐藤 建樹○中西 秀俊・菅原 哲・郷右近 浩・菅原今朝男
菊池 嘉穂・安倍 静夫・小野 幸宣

E【建設まちづくり系】

○高橋 勝司○今野 裕文・阿部加代子・中澤 俊明・佐藤 絢哉
遠藤 敏・新田 久治・及川 善男

公共施設視察状況

A グループ IN 水沢区

教育系

- 奥州市立水沢南中学校
- 奥州市立真城小学校

水沢南中学校は、大規模校のメリットを活かし部活動で成果を上げています。課題は、不登校・問題行動の生徒と家庭対応に関わる教師育成等について伺いました。真城小学校を視察、北校舎の痛みが特にひどく一部は使用不能で南校舎も随所に不具合や痛みが見られました。



真城小学校

行政執行状況等説明及び懇談会

原田区長、佐々木教育部長はじめ関係課長から組織機構、事務事業校舎改築、成人式、子どもの居場所、子ども会活動、生涯学習の実践等について経過や現在の現状について説明を受け、課題や今後の方向性について聞きました。主な課題は、本庁事務を兼任する職員が多いこと、事務事業統一調整を要する内容が多いこと、校舎改築は財源確保が難しいこと、個人情報管理の観点から成人式参加促進が難しいこと、少子化の影響が既に子ども会活動に表れていること等です。

公共的団体等との懇談会

校長会からは学区の問題、学校予算の不足、登下校時の子どもの安全確保について。青少年育成市民会議からは成人式の「家族からの手紙」に3年前から「成人者から親への手紙」を始めたこと。佐倉河スポーツクラブからは、地域交流、年代間交流を主体に「いつでも、どこでも、だれでも」の参加を目指していること。群の会からは、会員が高齢化し参加会員の減少、少子化で子どもたちは地域活動による縦と横のつながりが必要なこと。以上のようなことを話されました。

公共施設視察状況

B グループ IN 江刺区

総務系

- 江刺総合支所
- 生涯学習センター
- ヒロノ福祉パーク

当支所は、広い駐車場と庁舎の活かし方が今後の課題。支所に連続した生涯学習センターは中央公民館と図書館を一体化した利用度の高い好施設でした。福祉パークは地域の総合福祉ゾーンとして幅広い活動の拠点となっていました。



公共的団体との懇談会

行政執行状況等説明及び懇談会

十八年度建設事業は二つの地区センターの改築、有線撤去補助、道路十五路線、親水広場、藤原の郷等の整備を予定。執行部側より本庁支所の事務機能改善案として、農林部門等の分庁独立、退職者関連の人員削減等、バス等交通網の整備、情報過疎対策、また、各自治区に合った予算組み等が提案されました。

議員側からも事務機能改善の必要性や今の形に一部、分庁方式を取り入れるなど市民・職員の声を聴いて改善を考えるべき等の意見が出されました。

公共的団体等との懇談会

区長会協議会からは民生委員の増員と地域会合は支所ではなく従来通り各公民館で、また、区長会議は水沢ではなく、駐車場の広い江刺支所開催を提案されました。消防団では団員不足が問題となっており機能別団員の検討、また、ポンプ進入路、水路・水槽の確保が課題となっていました。防犯協会では子どもを守る愛宕防犯隊が百七名の隊員で発足していました。議員側からこれら団体の取り組みに感謝し応援していきたい旨を伝え意義深い懇談を終えました。